子どもの力を伸ばすための『夢実現コーチング』 言葉を変えれば、未来が変わる！の取り組み

道徳教育部 中村勝典

子どもの力を伸ばし、自己肯定感やコミュニケーション能力を高める取り組みの一つとして、数年前よりコーチングに取り組んでいます。コーチングというと、スポーツを連想させますが、東小で行っているものは、子どもの可能性をのばすためのコーチングです。まさに、本校の行動指標「可能性を力に」そのものです。

本来コーチングとは、人や組織が、最大の能力を発揮できるように、対話を通してサポートするコミュニケーション技法のことで、コーチ (COACH)とは、馬車を表す言葉で、「大切な人を目的地まで送り届ける伴走者の役割」を表しています。

昨年度は、月毎にコーチングの言葉を廊下に貼ったり、教室で取り組んだりしていただきました。

【昨年度のコーチングの言葉の例】

- ・魔法のスリーS「すごい!」「さすが!」「すばらしい!」でやる気スイッチ オン!
- ・やってみよう! きみならできるよ! だいじょうぶ!
- ・自分らしく 素直に生きれば だいじょうぶ!
- ・ナイス! OK! その調子! さあ、やってみよう!
- ・楽しい! 楽しい! 毎日 ハッピー!

今年も、子どもたちの可能性を伸ばし、それぞれの力にしていけるようにコーチングの取り組みをしていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いします。

★4月の夢実現コーチングは、

「やれば、できる! チャレンジすれば、夢はかなう!」です。

子どもたちを励ます良い言葉は、子どもたちの可能性を無限に伸ばします。子どもたちの意識を前向きに変え、可能性が更に伸びるように、各学級で声に出して読むと効果抜群です。毎月、夢実現コーチングの言葉を配りますので、ご活用ください。